



国立大学法人

筑波技術大学

# 学生の性的指向・性自認の 多様性尊重に関するガイドライン

2021年9月29日

国立大学法人筑波技術大学長

## <目次>

○ 本ガイドラインについて	1 ページ
1. 相談窓口について	1 ページ
2. 学内における性別・氏名の取扱いについて	3 ページ
3. 授業における対応について	4 ページ
4. 学生生活における対応について	5 ページ
5. 就職・キャリア支援について	6 ページ
6. 学内の環境整備	6 ページ
7. 周囲の人たちの対応（特にカミングアウトについて）	7 ページ

## ○本ガイドラインについて

本ガイドラインでは、性的指向・性自認の多様性尊重に関する具体的な対応について、内容に応じて以下のような形で分類しています。

- 【本学の方針】 . . . 「5つの基本方針」に基づいた、本学の方針や対応状況を記載しています。
- 【教職員のみなさんへ】 . . . 本学の教職員に対し、対応時に気を付けて欲しいこと、知っておいて欲しいことなどを記載しています。
- 【当事者の方へ】 . . . 当事者本人向けに、支援を受ける方法などについて記載しています。
- 【周囲の人へ】 . . . 当事者の周囲にいる人たち向けに、お願いしたいことなどを記載しています。

## 1. 相談窓口について

### 【当事者の方へ】

多様な性的指向・性自認に関して、困ったことや相談したいことがある場合には、以下の窓口で受け付けています。相談員はプライバシーを守りますので、安心して相談してください。相談に対応するために、学内の関係組織と連携することもあります。その際には必ず事前に相談者本人に確認を取ります。

相談は、メール、Teams、対面など、どのような方法でもかまいません。メールについても、学籍番号のアドレスだけでなく、学生個人のフリーアドレスを使用してもかまいません。その際、匿名で相談することも可能です。

相談内容や大学側の事情によっては希望どおりの対応ができない可能性もありますが、可能な限り対応を検討しますので、まずは気軽に相談してください。

なお、主にこのガイドラインの2番以降に記載されている内容に関して相談することができますが、記載にない内容であっても、まずは相談してみてください。学生に関しては入学前の方からの相談も受け付けています。

### 【教職員のみなさんへ】

相談を受けた教職員は、守秘義務を遵守し、第三者に情報を漏洩させないでください。関係組織と連携する際にも、必ず事前に

本人に情報共有の可否について承諾を得てください。本人の意思や希望を確認しないまま対応することは絶対に避けてください。

#### 【周囲の人へ】

当事者本人だけでなく、その周囲にいる人たちも窓口を利用できます。例えば、「カミングアウトされたときにどうすればよいかわからない」「困っている当事者を知っているが、どうしたらいいかわからない（7ページ参照）」などの相談も可能です。

#### 相談窓口

##### 【天久保キャンパス】

聴覚障害系支援課学生係

メールアドレス：kyoumul@ad.tsukuba-tech.ac.jp

##### 【春日キャンパス】

視覚障害系支援課学生係

メールアドレス：gakuseik2@ad.tsukuba-tech.ac.jp

※上記以外でも、苦情相談窓口・クラス担当教員・AA（アカデミック・アドバイザー）・カウンセラー（保健管理センター）にも相談することができます。

## 2. 学内における性別・氏名の取扱いについて

### ①性別の取扱いについて

#### 【本学の方針】

学生それぞれの性別について、本人の意図しない形で大学の周りの人たちや外部に公表されることがないように、慎重に情報を取り扱います。また、学内手続き・指導上の必要によって学生の性別情報にアクセスできるのは一部の教職員のみであり、それ以外の教職員には、本人の承諾を得ずに共有することはありません。

学内の書類や申請書についても、基本的に性別の記載が不要となるよう整備を進めています。

#### 【当事者の方へ】

学生記録や問診票など、大学に提出する一部の書類では性別の記載が必要ですが、そこには戸籍と異なる性別を記載することはできません。それ以外の書類については、戸籍上の性別によらない対応を検討することが可能ですので、窓口まで相談してください。

なお、本学の基本方針のとおり、学内の書類における性別の記載を不要にするよう整備しています。また、性別を含めた個人情報の取扱には十分注意を払い、厳格に管理しています。

### ②性自認の捉え方について

#### 【本学の方針】

性自認とは、自分の性をどのように認識しているか、ということを表します。特にトランスジェンダーの場合は非常に多様なものであるという認識のもと、本学では、どのような人でも制度・施設等を利用しやすいように様々な観点から見直しを行っています。

当事者個々人の状況・要望に応じて、可能な限り対応しますので、まずは相談窓口までご相談ください。

### ③氏名（通称）の取扱いについて

#### 【当事者の方へ】

所定の手続きを行うことで、本学の書類等において、戸籍上の氏名とは異なる通称名を使用することができる場合があります。

希望する場合は、相談窓口までご相談ください。

#### 関連

- 相談窓口：2 ページ
- 授業での呼称：4 ページ

### 3. 授業における対応について

#### ①授業での呼称

##### 【本学の方針】

呼称（「～くん」「～さん」など）については、性別に関係なく「～さん」に統一するよう教職員に対して提案し、周知を図っています。呼称に対応する手話表現についても、性別によらない表現を使用するなどの提案をしています。

##### 【当事者の方へ】

事前に大学に相談することで、手話表現を含め、授業での呼称を希望したものに設定することができる場合があります。

#### ②性別の要素がある授業

##### 【当事者の方へ】

本学では、男女別の要素がある授業科目が一部あります。これらの科目では性別に応じて、更衣室・用具の使用、グループ分けなどを行う場合があります。相談窓口や授業担当教員に事前に相談することで、個別対応が可能な場合があります。

また、男女別の要素がある授業科目は、シラバスにそのことを明記するよう、整備を進めています。

#### ③学外実習の履修

##### 【当事者の方へ】

本学では教育実習や正課インターンシップ、宿泊を伴う授業などが開講されています。実習・インターンシップ受け入れ先の体制や状況によっては必ずしも希望に沿えるとは限りませんが、事前の相談により、更衣室や服装などについて対応が可能な場合があります。まずは相談窓口までご相談ください。

#### 関連

- 相談窓口：2 ページ
- 学内における性別・氏名の取扱い：3 ページ

## 4. 学生生活における対応について

### ①学生寄宿舍での生活

#### 【当事者の方へ】

本学の学生寄宿舍はすべて居住棟が男女別となっており、男子棟・女子棟それぞれで、トイレや浴室等が共用となっています。学生寄宿舍の入居やそこでの生活について、希望する対応がある場合は、入学前・在籍中に関わらず相談を受け付けています。希望内容や本学の状況によっては必ずしも希望に沿えるとは限りませんが、まずはご相談ください。

### ②健康診断

#### 【当事者の方へ】

本学で毎年実施している健康診断は、基本的に男女別に時間を分けて行っていますが、申し出があれば本人の希望に応じて調整することができます（例：男性の時間の最後に一人で受けるなど）。また、医師による聴診やレントゲン検査等についても、対応を検討できる可能性がありますので、まずは相談窓口までご相談ください。

#### 関連

- 相談窓口：2 ページ

## 5. 就職・キャリア支援について

### 【当事者の方へ】

多様な性的指向・性自認に関連して、就職活動やキャリア形成において心配なことがあったり、情報提供を含め何か支援を受けたかったりする場合にも、相談を受け付けています。正課外のインターンシップなどについても相談を受け付けています。

なお、多様な性的指向・性自認に関する対応内容やその程度については、企業等によって異なりますので、必ずしも希望に沿えるとは限りません。企業等の対応について、事前によく調べておくことが重要です。ご相談していただければ、大学から企業等に、制度や対応状況を確認・相談することも可能な場合があります。

### 関連

- 相談窓口：2 ページ
- 学外実習の履修（インターンシップ含む）：4 ページ

## 6. 学内の環境整備

### 【本学の方針】

性的指向・性自認を理由とした差別を生じさせないよう、学生に対しては授業や講演会等を通して、教職員に対しては FD・SD 研修（FD…Faculty Development：教育改善のための教員研修、SD…Staff Development：事務系職員の資質向上のための研修）等を通して理解啓発に取り組んでいます。

また、学内の環境についても、中長期的な計画を視野に入れながら、整備に努めています。

## 【当事者の方へ】

また、当事者が学生生活を送るにあたって困りごとがないよう、誰でも利用できるトイレや男女兼用シャワールームの設置を進めています。なお現在、誰でも利用できるトイレは以下の建物に設置してあります。

### <天久保キャンパス>

- ・校舎棟 1 F ・ 2 F ・ 4 F ・ 5 F ・ 6 F
- ・総合研究棟 2 F ・ 3 F
- ・図書館

### <春日キャンパス>

- ・校舎棟各階
- ・図書館
- ・大学会館
- ・体育館

## 7. 周囲の人たちの対応（特にカミングアウトについて）

ここでは、周囲の学生や教職員向けに、当事者に対応する際の一般的な注意事項などについて記載しています。例えば、多様な性的指向・性自認に関して、様々な用語がある一方で、差別的な表現も存在します。不用意な言動によって、無意識であっても差別・偏見につながることもあるので、十分に注意する必要があります。

### ① カミングアウトについて

#### 【周囲の人へ】、【教職員のみなさんへ】

マイノリティとされる人々は、社会生活を送る中で、普段、周囲の人に知らせていなかったり、知られないようにしてきたりしたことを、伝えるかどうか決断を迫られることがあります。これは性的指向・性自認に限った話ではなく、出自、信仰、家族や家庭の状況、障害、病気や余命など、さまざまな理由により生じるもので、この際に行われるのが「カミングアウト」です。カミングアウトは、ひとりの人間としてありのままに尊重されたいと願う気持ちから行われる行為であり、本人にとっては「自分を偽

る」ことにより生じていた苦痛や不利益から解放される手段にもなります。

こうしたカミングアウトは、すべての人に対して一律に行われるものではありません。「この人なら」と信じられる相手にのみ限定的に行われることも多く、当事者によって、カミングアウトする範囲は異なりますし、しない場合もあります。このため、いつ誰に対して、どのようにカミングアウトするかは、当事者の選択によって決定されるべきものという認識を持つ必要があるでしょう。

## ② 自己決定と情報のコントロール

### 【周囲の人へ】、【教職員のみなさんへ】

カミングアウトは「あなた」個人に対して行われたものであり、当事者の許可なく第三者に対してその情報を勝手に公表してはいけません。当事者自身の判断でカミングアウトしているので、カミングアウトされた側は、カミングアウトされたこと自体やその内容を十分注意して取り扱う必要があります。カミングアウトされた場合の対応については、8ページ「カミングアウトされたときには」を参照してください。

## ③ カミングアウトとアウトティング

### 【周囲の人へ】、【教職員のみなさんへ】

カミングアウトされたこと自体やその内容を、本人の許可なく第三者に暴露することを「アウトティング」と言います。これは本人の尊厳を深く傷つけるだけでなく、意識的・無意識的な差別を背景として当事者に大きな精神的苦痛を与えます。こうしたアウトティングは、自死（自殺）といった最悪の結果を招きかねません。故意や悪意によるアウトティングを本学はハラスメントとして扱い、対応します。善意のつもりでも、本人の承諾を得ずに行われたことはすべて「アウトティング」となります。相談を受けた側にも十分な注意が求められることに留意してください。

## ④ カミングアウトされたときには

### 【周囲の人へ】、【教職員のみなさんへ】

「誰にも言わないでほしい」と言われてカミングアウトされたとしても、守秘義務のある相談窓口にご相談することができます。カミングアウトに対してどうすればよいか分からないとき、何か気になることがあるときは、カミングアウトされた側も、相談窓口にご相談ください。

なお、カミングアウトについては、時折「あなたは私の性的対象だ」と宣言されたり「性的関係を要求された」と誤解したりし

て、「セクハラを受けた」などと表現する方がいますが、これはまったくの勘違いです。カミングアウトは、突然それまでの人間関係を破壊しようとして行われるものではありませんし、あなたをおびやかすものでもありません。

関連

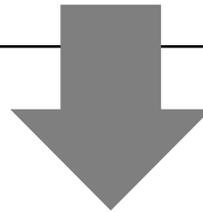
○相談窓口：2 ページ

## 巻末参考

○本学の基本方針及びガイドラインは、以下の方々にご指導・ご助言いただき作成しました。(順不同)

- ・株式会社アカルク 代表取締役 堀川 歩 様
- ・国立大学法人筑波大学 河野 禎之 助教
- ・Deaf-LGBTQ-Center (ろう者かつ LGBTQ を支援している団体です。  
<https://deaf-lgbt-center.jimdofree.com/>)
- ・茨城県保健福祉部福祉指導課人権施策推進室

# 多様な性的指向・性自認に関して 気軽に相談してください



## 相談窓口

### 【天久保キャンパス】

聴覚障害系支援課学生係

メールアドレス：kyoumul@ad.tsukuba-tech.ac.jp

### 【春日キャンパス】

視覚障害系支援課学生係

メールアドレス：gakuseik2@ad.tsukuba-tech.ac.jp

※上記以外でも、苦情相談窓口・クラス担当教員・AA（アカデミック・アドバイザー）  
カウンセラー（保健管理センター）にも相談することができます。